

平成 27・28 年度 土木学会複合構造委員会 第 6 回幹事会議事録

日 時：平成 28 年 3 月 5 日（土）10:00～13:00

場 所：東横 INN 富山駅前 1 会議室

出席者：奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，池田幹事，~~夫久保幹事~~，葛西幹事，~~斎藤(成)幹事~~，
齋藤(隆)幹事，~~下村幹事~~，平幹事，~~中村幹事~~，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，溝江幹事，久
米村事務局

配布資料：

資料 幹 6-0 平成 27・28 年度第 6 回複合構造委員会幹事会議事次第

資料 幹 6-1 平成 27・28 年度第 5 回複合構造委員会幹事会議事録（案）

資料 幹 6-2 平成 27 年度の予算執行状況

資料 幹 6-3 論文集特集号準備状況

資料 幹 6-4 第 6 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム

資料 幹 6-5 平成 28 年度重点研究課題案

資料 幹 6-6 土木学会全国大会 研究討論会案

資料 幹 6-7 出版関連報告

資料 幹 6-8-1 H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

資料 幹 6-8-2 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会

資料 幹 6-9 複合構造委員会 10 周年記念式典（案）

~~資料 幹 6-10-1 H101 複合構造標準示方書小委員会~~

~~資料 幹 6-10-2 H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会委員会~~

資料 幹 6-10-3 H106FRP による構造物の補修・補強指針作成小委員会

資料 幹 6-10-4 H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会

資料 幹 6-10-5 H181 合成床版指針作成小委員会（地方講習会）

資料 幹 6-10-6 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

~~資料 幹 6-10-7 H213 構造物の更新・改築技術研究小委員会~~

~~資料 幹 6-10-8 H214 複合構造の防水・排水研究小委員会~~

資料 幹 6-11 日中ワークショップ（国際センター）の開催について

資料 幹 6-12 来年度の委員会・幹事会スケジュール

議事内容：

0. 委員長挨拶

奥井委員長より，幹事会開催にあたり挨拶があった。

1. 第5回幹事会議事録案の確認（資料 幹6-1）

牧幹事より，資料に沿って説明があり，以下を修正した上で承認することとした。

- ・p.3「7. (1) FRP による構造物の補修・補強指針作成小委員会」の 2 行目
「1/27(木)に第 1 回委員会を開催予定。」→「1/28(木)に第 1 回幹事会を開催予定。」
- ・p.4「9. (8) H214 防水」の 1 行目
「年明けに第 2 回委員会を・・・」→「年末に第 2 回委員会を・・・」

2. 平成27年度の予算執行状況（資料 幹6-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。現時点の予算残額は約38万円であり、今回の幹事会でほぼ消化される見込みである。

3. 土木学会論文集A1特集号：複合構造（資料 幹6-3）

牧幹事より、資料に沿って説明があった。展望論文、小委員会報告についてすべての原稿を受領済みであり、スケジュール通りに進捗している。また、島小委員長より、海外への長期出張に伴い、辞任の申し入れがあり、残りの1年間の任期は奥井委員長が小委員長を務めることで、委員会に諮ることとなった。

4. 第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウム（資料 幹6-4）

松本幹事より、資料に沿って説明があった。投稿の申込み方法をWEBオンラインにした。また、見学会を開催予定であるが、シンポジウム参加費を増額しなくても済むように、見学会参加者には保険代も含め別途参加費を支払っていただくことを考えている。これに対し、シンポジウム開催地である名古屋市には観光バスの費用の一部を負担してくれる制度があるとの情報があり、学会として申し込むことが可能か検討することとなった。

5. 平成28年度重点研究課題（研究助成金）（資料 幹6-5）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。水工学委員会と連携して応募することで調整を進めていたが、同委員会から応募内容について直接会って審議する必要があるが、そのための時間が不足しているとの理由から、今年度、連名で応募することは断念したいとの連絡があった。次年度の応募に向け、今後、直接会って審議することを検討することとなった。また、その際は企画WGが打合せを担当することとなった。

6. 平成28年度研究討論会（資料 幹6-6）

齋藤(隆)幹事より、資料に沿って説明があった。前回の幹事会で基本線とすることとした施工をテーマに、①施工性の理想と現実、②維持管理性や耐久性に違い生む施工上の配慮、③更新時代の技術のボーダレス化といった3つの具体案が示され、審議の結果、③案をベースに応募資料を作成することとなった。齋藤(隆)幹事がコーディネータを務め、西崎副委員長と協力して応募資料を作成する。

7. 出版関係（資料 幹6-7）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。原価回収部数に達していない出版物について、土木学会以外の会場で講習会を行う際にも、これら出版物を会場価格で販売することができないかとの意見が出されたが、土木学会以外の会場では販売のために人件費や発送費が必要となるために会場価格では販売できないとのことであった。今後、土木学会以外の会場で講習会を行う際は、出版物を購入するための申込み用紙を置くこととし、同用紙について講習会の司会者から参加者へ周知していただくことにした。

8. 新規小委員会（委員募集案内）について（資料 幹6-8-1, 6-8-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。委員会の承認を得たH215, H216の2つの委員会について、学会誌4月号に委員募集案内が掲載される予定であるが、先んじて委員会ホームページに掲載している。また、H216委員会の委員募集案内について委員会名称に誤りがあるため、斉藤(成)幹事に修正を依頼することとなった。

9. 複合構造委員会10周年記念式典（資料 幹6-9）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。第2回委員会終了後の懇親会で話題となった10周年記

念式典の開催について、大垣委員に資料を作成していただいた。審議の結果、大垣委員から提案していただいた案をベースに、式典開催の是非を6月の第3回委員会で諮ることとなった。また、同案のとおり、委員長、幹事長を、それぞれ大垣委員、池田幹事とした実行委員会を組織して、開催までの準備を開始するとともに、幹事会から実行委員会の委員として西崎副委員長、溝江幹事、古市委員、渡辺委員を推薦し、大垣委員に打診することとした。式典出席者は過去に本委員会に携わった方がよい、開催日を12月の第4回委員会に併せてはどうか、委員会の今後についてパネルディスカッションしてはどうかなどの意見も出された。

10. 小委員会報告審議事項

(1) H101 複合構造標準示方書小委員会（資料なし）

報告審議事項なし。

(2) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会委員会（資料なし）

葛西幹事より、講習会開催の是非について相談があり、1種委員会による講習会の開催は必須ではないということを確認した。なお、2種委員会では必須。

(3) H106 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会（資料 幹6-10-3）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。メール審議にて委員が確定したため、3月中に委嘱の手続きを行い、第1回小委員会を4月7日に開催する。

(4) H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会（資料 幹6-10-4）

平幹事より、資料に沿って説明があった。藤山委員をメンバーに加えたいとの申し入れがあり、審議の結果、これを了承し、委員会に諮ることとした。

(5) H181 合成床版指針作成小委員会（資料 幹6-10-5）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。地方講習会の開催日が、京都 5月27日、名古屋 6月24日、福岡 7月15日、札幌 7月29日に決まった。

(6) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会（資料 幹6-10-6）

報告審議事項なし。

(7) H213 構造物の更新・改築技術研究小委員会（資料なし）

滝本幹事長より、活動状況について報告があった。

(8) H214 複合構造の防水・排水研究小委員会（資料なし）

報告審議事項なし。

11. 日中ワークショップ（国際センター）の開催について（資料 幹6-11）

松本幹事より、資料に沿って説明があった。3月2日に日中間でテレビ会議を開催し、10月21～24日に土木学会で開催することに決まった。本委員会としては、今後、論文募集や現場視察の準備などで協力していくことになる。

12. 来年度の委員会・幹事会スケジュール（資料 幹6-12）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。委員会、幹事会の開催日を以下のように決定した。

委員会：第3回 6月30日(木)14時～、第4回 12月16日(金)10時～

幹事会：第7回 5月20日(金)14時～，第8回 7月28日(木)14時～，第9回 9月8日(木)，
第10回 11月15日(火)14時～，第11回 1月27日(金)14時～，第12回 3月10-11日(金土)

13. その他

特になし

以 上

(記録・文責：溝江)